

認知症ケアパスに関する委員からのご意見

項目	認知症ケアパスについてのご意見等
<p>【①全体の構成について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記載項目 ・ 情報の分量 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアパスの流れが分かるようにする必要があることから、ページの最初の方にフローチャート式の流れが分かる図が欲しい。 ・ 見開きのサービス一覧は大変見易く、自分が必要な情報を探しやすいため、冊子の前の方にあると良い。 ・ 認知症かなと思われる症状には、服薬している薬剤の副作用が原因の時もあり、現に認知症疑いの方やその家族の方が薬を購入するついでに薬局・薬剤師に認知症のことを相談する場合もあり、かかりつけ医や地域包括支援センターに連絡して対応できた事例もある。そのため、2、3ページ「地域で相談できる人」の項に薬局・薬剤師の記載もあると良い。 ・ 3ページの地域包括支援センターの表は、手渡しする際に担当のセンターに印をつけるということが徹底されないのであれば、「担当がどこか分からなくても、どこにでも良いから連絡をとってみて」と記載してほしい。担当包括が分からない人は少なくない。 ・ 医療機関は、実際に受信可能な医療名等も記載した方が便利。受診時のメモは例ではなく、書き込み可能なものの方が良い。 ・ P20、25のような項は文章中にキーワードが入るより、キーワード別に項目を設けた方が読みやすい。 ・ 22ページ「福祉委員」は市内で統一された名称ではなく地域ごとに異なるため記載としては不適當。地区社協の活動者は厳格なマナーとしてプライバシーを守っているが、守秘義務を課せられているわけではないため、全体的に記載を再検討した方が良い。 ・ 「認知症ケアパス」というタイトルでは中身が分からず、一般市民が自分の役に立つものと思えないのではないかと。空白の期間をサポートするためということであればなおのこと、自分の役に立つだろう、開いてみたいという気にさせるタイトルや表紙デザインが必要ではないかと思う。 ・ はじめに、の「苦しさを一人で背負わないように」という表現に軽くショックを受けた。認知症になるって苦しいことなんだと逆に突きつけられているような気がした。 ・ 電話が市外局番から書いてあったり、そうでなかったりと統一されていないため、市外局番から記載するように統一した方が良い。 ・ Q&A方式が優しいイメージで良い。 ・ ボリュームがあるので、シルバーライフのように端のほうにインデックスがあると良い。 ・ 全体に分量が多い。認知症の分類(アルツハイマー型、レビー小体型等)のような各論的な部分は不要だと思う。 ・ 認知症イコールくらいイメージとならない感じが受けられる造りに感じた。絵も多く見やすい。初めに相談に関する内容があることは安心感を持ってもらうことになると感じる。 ・ 病院受信時の注意点や紹介など、迷うことなく行動につながる内容が出来ると思える内容。

項目	認知症ケアパスについてのご意見等
<p data-bbox="129 869 336 898">【②活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="137 913 272 943">・ 配布場所 <li data-bbox="137 958 272 987">・ 活用場面 <li data-bbox="137 1003 440 1115">・ 本人を含めた支援者間の連携 など 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="513 219 1417 248">・ 地域包括支援センターはもちろん、認知症カフェにも配布してほしい。 <li data-bbox="513 264 1377 293">・ 市内にある薬局(約 520)の認知症コーナーにても展示・配布したい。 <li data-bbox="513 309 1465 421">・ 薬局では認知症ケアパスに関心を示した方に手渡し、説明だけでなく質問も受ける。ケアパスは配布するだけでなく対話した方がより理解が深まると思う。 <li data-bbox="513 436 1465 638">・ 薬局では、かかりつけ医や地域包括支援センターへつなぐ支援や、患者宅への訪問、患者訪問ができる薬局の紹介を実施する。対応した薬剤師が地域ケア会議に参加し、本人を含めた支援者間の連携を図る。また、必要に応じて行政関係部署に連絡する(薬剤師会は、ワーキンググループを立ち上げ、定期的に検討会を実施しているので、問題点はそこで議論される)。 <li data-bbox="513 654 1465 766">・ 診断を受けた時に医療機関から渡される、または相談した時に地域包括支援センターから渡されるというのが良い(使い方の説明付きで渡す方が効果的) <li data-bbox="513 781 1465 900">・ 市のホームページから誰でも見るようにしてあることも必要。本人や家族、友人など情報を得たいと思っている人に正しい情報を伝えるというのは大切なことだと思う。 <li data-bbox="513 916 1465 987">・ 医療機関と連携するために、受診したことがある病院名等を記載する欄は必要ではないか。 <li data-bbox="513 1003 1465 1122">・ 地域包括支援センターや高齢者の多いクリニック等であれば手に取りやすい。一緒に見る誰か(クリニックであれば看護師など)がいるところが良い。本人と家族が一緒に見て考えられるパスになれば良いと思う。 <li data-bbox="513 1137 1465 1294">・ 介護保険サービスの記載方法が難しい。訪問介護は特に専門職のアセスメントの結果で導入する。誰でも利用できるかのような表現にすると後で苦情が挙がることもある。また、平成 29 年度以降の総合事業も視野に入れないと発行してすぐに変更が起り得る。 <li data-bbox="513 1310 1465 1382">・ 地域包括支援センターの登場が多く、こんなに多岐に渡る相談に対応できるかと不安になる。 <li data-bbox="513 1397 1465 1554">・ 認知症状を分かっているながらも、専門医を紹介してない主治医がおり家族から相談された。画像診断できる医療機関には紹介状が必要で、病状的に急ぎだったため対応に苦労した。認知症を理解していない医療機関があったり、受診までに時間がかかったりと医療面に課題を感じる。 <li data-bbox="513 1570 1465 1641">・ 高齢者と一緒に生活をしている若い世代の人たちが目にする場所(公共交通機関待合室、映画館、etc.)。 <li data-bbox="513 1657 871 1686">・ 地域(町内会)行事等で紹介。 <li data-bbox="513 1702 992 1731">・ 関係福祉職種団体 HP への情報提供。